

平成 23年度 広島市立舟入小学校経営計画

学校教育目標

互いに人権を尊重し、協力して実践する、心身共にたくましい子どもの育成
「深く考え、進んで学ぶ子ども」「仲良く助け合う子ども」「いつも元気でやりぬく子ども」

目指す学校像(ビジョン)

- あいさつあふれる、美しい学校
教職員・児童の元気なあいさつが飛び交う学校、清掃が行き届き花いっぱい教育環境の整った学校
- 来校者の多い、地域と交流する学校
保護者・地域と連携して教育に取り組む開かれた学校、地域の教育力を積極的に取り入れ、体験活動を充実させる学校
- 教職員が熱意をもち、協働する学校
教職員がそれぞれの持ち味を活かし、お互いに高め合い、組織として協働して教育活動を進める学校

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策
学 力 の 向 上	指導方法の改善を図り、 分かる授業を創造し、学習意 欲と学力の向上を図る。	⇒ 新学習指導要領を確実に実施し、 基礎・基本の定着を図り、思考力・ 表現力・交流する力を育む。	・めあてを明確にした授業を行い、児童にめあてを意識して授業に臨ませ学習の定着を図る。 ・帯時間の充実と家庭学習の習慣化を図る。 ・効果的な小グループの活用を行う。 ・思考力・判断力・表現力・交流する力を育むための研修を深め、実践する。
豊 か な 人 間 性 の 育 成	道徳的実践力や規範性を 育み、社会参加できる人間の 基礎を築く。	⇒ 生徒指導部が中心となり、全 教職員の共通理解を図り、思い やりの心や人としての望ましい考 え方・行動の仕方を指導する。 (自己指導能力を育成する)	・教職員が率先して手本を示し、自分から進んであいさつができる児童を育む。 (低…元気よく 中…相手の顔を見て 高…笑顔で) ・私語をしないで清掃を行い、自分たちの通う学校をきれいにしようとする意欲を育む。 ・教職員が児童とともに清掃し正しい清掃の仕方や清掃用具の扱い方を指導する。 (清掃用具を大切に扱う) ・心に響く道徳の授業を通して、人としてのあり方や自らの生き方を考えることができるようにする。(4～6年 生徒指導主事がT・T) ・道徳参観日を実施する。(10/1)
町 ぐ る み に よ る 教 育 の 推 進	地域社会・家庭とのつな がりを大切にし、信頼される 学校づくりに努める。	⇒ 学校の教育環境を整え、地域・保 護者に学校の教育活動を理解して もらう取り組みを継続する。	・校内に花を増やす。 ・清掃を徹底する。 ・整理整頓をする。 ・ペンキを塗る。 ・地域の人材を活用した教育活動を行う。 ・異校種連携を進め、スムーズな接続を図り、児童の健全育成を図る。 (保・小・中・舟入高との連携) ・たんぽぽ(学校便り)を月に2回発行する。 ・ホームページの更新をする。(学期3回) ・学年通信・学級通信を発行する。
体 力 の 向 上 と 安 全 な 生 活	子どもたちの体力の向上 を図るとともに、安全に学校 生活を送るため、望ましい 行動の仕方や生活習慣を 身につけさせる。	⇒ 自分の健康・安全に関心を持ち、 自分の体力の向上をめざし、運動に 取り組む児童を育む。	・年間を通じて、縄跳び運動に取り組み体力の向上と調整力を育む。 (短縄跳び・リズム縄跳び) ・舟入高校生徒の縄跳び指導を通して、できない技に挑戦する意欲を喚起する。 ・新体力テストの結果から自己の課題を把握させ、運動の習慣化を図る。 ・大休憩の外遊びを奨励する。 ・ドッジボール大会(6月) ・学校生活のきまりを徹底させる。 ・校内の安全点検を確実に実施し、早期に改修する。